第一號議案 加盟団体青年部統一組織化の件。 説明 古賀政喜（製鉄）

議案書記載の原案の如く決定

緊急動議 失業者救済事業に関する件 提案 崎野秀丸（總同）

失業救済事業従業者の賃金値上要求なるを以て、第二號議案に挿入し、実行方法に於てこの緊急動議の精神を実現さすこととする。

第二號議案 労働強化に伴ふ賃金値上げ運動に関する件 説明 徳田吉松（總同）

議案書の原案の如く満場一致可決確定

第三號議案 営利労働紹介所の撤廃並に無料公営職業紹介所機能拡充の件 説明 黒木松三（炭従） 賛成意見 白木清三（總同）

（賛成意見中事実相違の点ありと崎野秀丸君より松島炭坑の実状を徹底的に暴露し満場拍手を以て議案書の原案を可決す。）

緊急動議（勝野満君（總同）より）東北冷害並福岡県下旱害農民救済に関する件の上提動議が出たが議長は議案審議終了迄の上提を留保す。）

第四號議案 福岡県炭業委員会設置に関する件 説明 伊藤卯四郎（總同）

大会議案書の如く原案を可決確定

（勝野君の緊急動議上提に先ち、伊藤書記長より、本案は既に政治問題化し、福岡県下の旱害被害高は県当局の発表するところのみでも既に千二三百萬円に達し、関西の風水害、東北の冷害と共に作被害に劣るものでないが、関西、東北の被害のみを過大に取扱ひ県下の旱害は軽視されてゐる情態であるから、我々は先ず県下の被害民救済に全力を注ぐが至当であると確信する。故に本動議を福岡県下の旱害救済のみに修正されたい。又今回福岡県下の旱害救済の件に就ては既に社会大衆党福岡県支部聯合会が県下の各農民団体と協議会を持ち、具体的対策を樹立することになってゐるから、この方に従ひ、労働組合としては、その対策に於いて積極的に協力して具体的運動を起す方が最も効果的と信じられる旨の報告的意見があり、提案者よりも伊藤書記長の努力を期待してゐるので本緊急動議を撤回する旨を述べられた。）

一、規約に関する大会委員会の報告 黒木松三（炭従）

規約は改正を要すべきところなく、前年度のまま本年度も踏襲する。

一、綱領の発表 増原操（海組）

綱領中の字句二ヶ所、世界観削除するところを採択して、草案を確定、承認する。

一、役員発表

委員長 加藤良[illegible]衛門（製鉄） 書記長 伊藤卯四郎（總同盟） 会計 久保田辰一郎（海組） 常任書記 奥村光夫（總同盟） 委員、日本製鉄従業員組合四名（外に本部評議員三名）、海員組合四名、海員協会二名、日本炭坑従業員組合五名、日本労働總同盟九州聯合会四名を夫々推薦せしめて就任せしめる。 柴田勇平（製鉄）

一、役員代表挨拶 新書記長 伊藤卯四郎（總同）

（嘗て日本製鉄従業員組合主事として、本協議会の委員長となり、不断の健闘を続けてゐた[illegible]三郎君が今回[illegible]転勤するに当り、特に本大会へ袂別の挨拶を述べ永年の友誼を謝されたのち、[illegible]本協議会を代表して惜別の詞を呈した。）

一、閉会（伊藤書記長の発声で日本労働組合会議九州地方協議会の萬歳を三唱して散会。）

以上。